

青年委員会だより

平成28年11月1日(第192号)

青森県建築士会青森支部青年委員会

地域貢献活動に建築士試験、そして、自分たちの代では初となる全国大会での戦いが終わり、今年も残りわずかとなりました。季節の変わり目ですので、体調管理には気を付けて下さい！

10月定例会の様子

第59回建築士会全国大会「大分大会」



会議の様子



会場のピーコックラサ！



全国建築士フォーラム



フォーラム会場の様子



パネルディスカッションの様子



寂しげな洞内さん…



語る片山さん…



平塚節炸裂？！



懇親会の様子



懇親ゲームの卓球！！



建築体験ウォッチパネル



会場の様子



発表開始！頑張れ稲見さん！



ワークショップの様子



運命の投票結果発表…



授賞式！

青年委員会10月定例会

10月7日、青年委員会10月定例会を開催しました。今回は、1週間程前に開催された全体反省会の内容を基に、参加した青年委員それぞれの感想と反省点や改善点等について話し合いました。また、次年度以降の建築体験ウォッチをどうして行くかも話し合い、これまでと同じように開催していくためにはこども夢基金等の補助金が必要不可欠であると共に、若手の会員を増やしていかなければ、今後の活動がままならないことが問題となりました。色々な問題はありますが、来年度は今のままのメンバーで今年度と同じくこども夢基金の申請をした上で活動し、それ以降の活動についてはその後考えて行くことになりました。建築体験ウォッチに参加して頂いた青年委員の皆さん、来年度もご協力お願い致します！

(※裏面へつづく)

第59回建築士会全国大会「大分大会」

10月21日、青年委員一同は全国建築士フォーラムに参加すべく、青森県建築士会御一行と共に大分空港到着！天候は曇、雨男のせいでしょうか…。15時から会議に出席しなければならない川島会長と、15時半よりテーブルコーディネーターの打合せに出席しなければならない編集長松野、そして16時には会場入りしなければならない、片山、平塚、洞内の計5名は、ジャンボタクシーをチャーターし、本体とは別に移動しました。到着時刻は14時…。飛行機が遅れ、15時の会議に間に合うかどうかの状況でしたが、タクシーに乗り込みました。途中で雨が降り出し、海沿いに立ち並ぶ旗の『あめた井』の響きに若干引きながら、何とか15時前に会場のビーコンプラザに到着！タクシー料金が見たことのない金額になっていることにまた引きながら、会長を雨に濡らすわけには行かないと、傘を差し会場へとお見送りしました！あっ！ちなみに、『あめた井』のあめたとは、大分独特の呼び方で正式名は**イボダイ**と言うそうです！決して**あめでる**わけではありません（笑）また、ビーコンプラザは磯崎新さんの設計だそうです！編集長松野、巨匠の設計した建物内で迷子になりながらもフォーラム会場に辿り着き、時間に余裕のある3人は周辺観光へ！打合せを終え、3人が戻ったところでフォーラムが始まります！第一部では平成26年度全国青年委員長会議で掲げた目標の成果発表・報告会で全7ブロックの代表者が発表しました。第二部では災害時、私たち建築士にできることと題し、3名のパネリストを迎えパネルディスカッションが行われました！そして、編集長松野がテーブルコーディネーターを務めることとなったテーブルディスカッションが始まります！A～Gの7テーブルで行われますが、A～CとD～Gは会場が異なり、Cテーブル担当の編集長松野1人だけ別会場で頑張ることに…。寂しい…何て言っている暇もなく、まずは参加者の中からまとめ発表者と書記を選出します！声掛けしますが反応がないため、黄色い蛍光のスタッフジャンパーが目立つ大分県の方を発表者に、また最前列にいた長澤まさみ似の宮崎県美人？！に書記をお願いしました。懇親会で判明しますが、実はこの女性、若いと思っていたら実は同い年？！だったようです…。発表者と書記が決まった所で、テーブルディスカッション開始です！！第一テーマは「あなたが今までに経験した災害。その状況や被害について」ですが、何と！！Cテーブルの参加者約20名の中に被災経験者が1人もいない！！いきなり言葉に詰まります（汗）地震、雷、火事、オヤジ？！ではないですが、とにかく何か引き出そうと必死になりながら質問して行きますが、ただただ時間だけが過ぎて行き、気付けば第一テーマ終了…。続けて第二テーマは、「災害時、困ったこと。必要だと感じたこと。」さっき、被災者いないって言われましたけど…。と思いつつ、とにかく皆さんの意見を聞こうと、指名し続けていると長野県のおじ様が、応急危険度判定について提案して下さい、それぞれが意見を申し出ることが出来、第三テーマである「私たち建築士に出来ること」につなげられ、何とかまとめることが出来ました！一つ感じたことは、自主的に意見を言う方は少ないものの、わざわざ全国大会前日のフォーラムに参加するくらいの方々だけあって、意見を求めた場合にはこちらが思った以上に話して下さいの方ばかりだったことです！この後、各テーブル発表者によるまとめ発表会があり、懇親会が開催されました。連合会青年委員でD～Gテーブル会場の担当だった稲見さんに後から聞いた話によると、洞内さんは端っこでどこか寂しげに、片山さんは各テーマについて語り、怪しく無言だった平塚さんは…最後の最後に平塚節が炸裂？！したとかしないとか…。そんなことを語らいながら全国の青年委員と交流し、懇親ゲームである温泉卓球大会では、ラケット代わりに、桶、ひしゃく、マペット？！、パイナップル？！等々…会場は爆笑の渦に包まれ、次回開催の京都のPRで懇親会が終了しました。その後、全国の青年委員たちは近畿ブロック主催のキンキナイト等、夜の街へと消えて行きました…。

10月22日、全国大会当日。いよいよ青年委員会セッションである地域実践活動報告が開催されます！全国大会の地域実践活動報告は、第一部として全7ブロックによる全体発表があり、終了後投票を行います。その後、第二部としてディスカッション形式のワークショップを行う流れです。編集長松野、朝早くに事前打ち合わせのため会場入りすると、既に会場入りしていた稲見さんが連合会青年委員として準備に追われていました。準備がある程度落ち着いたところで第一部の発表者説明が行われ、地域実践活動報告に参加する人たちが続々と入場し始めたころ、第二部のテーブルコーディネーター説明が行われました。説明が終わり、席が埋まると戦いが始まります！！発表は、①中四国ブロック（高知）「空き家対策調査～問題解決の足がかりとして～」、②九州ブロック（大分）「まちに飛び出せ公務員建築士」、③東北ブロック（青森）「建築体験ウォッチ」、④東海北陸ブロック（愛知）「はがきdeコンペ」、⑤近畿ブロック（京都）「『路地』と『小路』の銘板取り付け」、⑥関東甲信越ブロック（長野）「建築士の未来へ～今、私たちができることから～」、⑦北海道ブロック（函館）「木で遊ぼう！マイはし作り体験」の順番で進みます！各ブロックが制限時間内に発表を終えて行く中、今回は囁むことなく順調に発表して行く稲見さん！調子が良いと思いきや、制限時間を超えてしまい、強制終了させられてしまいました…。しかし、内容は全国レベル！！2年越しの全国大会進出で負けるわけには行きません！！全ブロックの発表が終わり、投票へ…。結果が気になる所ですが、その前に第二部のワークショップへ！途中で発表が終わってしまったからか、やはり内容が良かったからか、席にサクラを準備したにも関わらず思った以上に多くの人が集まって下さり、この後が投票だったら…と悔やまれつつ、ワークショップが終了しました。

全国大会、運命の結果発表は…

最優秀賞は近畿ブロック（京都）、優秀賞は関東甲信越ブロック（長野）と両者共に全国大会常連チームで決定！我々東北ブロックは、残念ながら**奨励賞**（3位～7位）と言う結果になりました…。朝早くから見学コースに行かず応援して下さいの皆様、大変申し訳ありませんでした…。この思いを胸に、来年度も全国への切符を手にし、京都でリベンジしたいと思います！！

参加して頂いた皆さん、お疲れ様でした。そして、応援本当にありがとうございました！

全国大会では皆様の応援に応えられず奨励賞となってしまいましたが、悔しさも含め『青年委員会ちよっち早めの忘年会』を開催したいと思います。場所は未定ですが、参加される方は**11月7日（月）までに事務局またはお近くの青年委員までご連絡下さい。**よろしくお願い致します。

青年委員会ちよっち早めの忘年会 11月19日（土）第3土曜日 19:00～

FAX017-723-7105 mail info@aaba.gr.jp のいずれかでご連絡ください。

未定（出席 ・ 欠席）
どちらかに○をつけて返信ください

氏名

TEL